

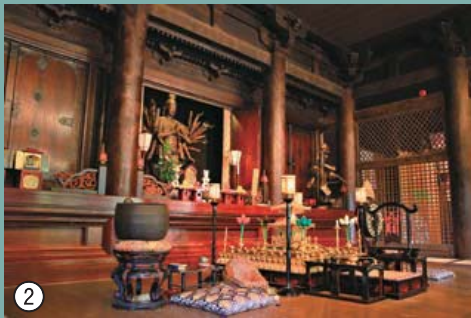
## 宗内寺院紹介 58

## 近畿教区第三部

## 天音山 道成寺



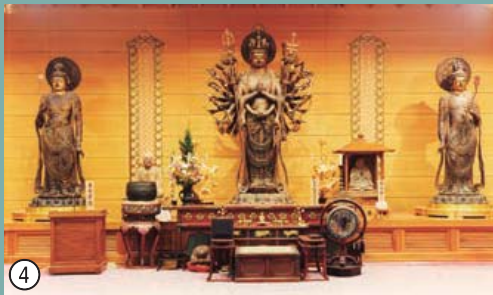
①



②



③



④



⑤

①境内 ②本堂内陣と奈良時代の千手観音像 ③『道成寺縁起』より法華経頓写法要  
④平安時代の千手観音、月光菩薩、月光菩薩像 ⑤絵とき説法

近畿教区第三部  
天音山 道成寺

住 所 / 〒649-1331 日高郡日高川町鐘巻1738  
電話番号 / 0738-22-0543

道成寺は大宝元年（七〇一）に創建され、法相宗、真言宗を経て、江戸時代に紀州徳川家の帰依を受け、天台宗に改宗した。日本最古級の千手観音像と千手陀羅尼経が残る。

平安時代にはいわゆる安珍・清姫の事件で釣鐘を焼かれた。この事件は、比叡山で編纂された『日本法華験記』という仏教説話集に紹介され、日本中に広まった。安珍も清姫も法華経頓写の功德で成仏したとされるこの事件は、『道成寺縁起』という絵巻や能楽や歌舞伎の題材として知られるが、日本における法華功德譚の代表格と言えよう。

宝佛殿には巨大な仏像群がまつられ、縁起堂では「道成寺縁起」の写本を広げて「絵とき説法」が毎日ほぼ毎時間、年間二千回行われている。新西国霊場五番、神仏霊場和歌山六番の札所でもある。